

特別研究Ⅱ 審査発表会 概要の作成・提出・発表について

(副題がある場合は括弧でくくる)

題目は、和文フォントをゴシック体、
欧文フォントをサンセリフ体とし、
中央に配置する。

10ポイント
ゴシック、中央に配置

9ポイント
Times New Roman
キーワードは3語以上
6語以内、

English Title
(English Subtitle.....)

10ポイント
Times New Roman, Bold

環境システム工学専攻 AMC19XX 大分 太郎 (指導教員 ○○ ○○)

Key Words: Fluid Machinery, Na Energy, Wind Turbine, PIV, Guide Vane, Velocity Distribution

ESの場合、
電気電子情報工学専攻

1. 結 言

講演概要集の目的は、聴講者の便宜のため、かつ来場できない教職員に講演内容を伝えるために作成する。したがって、聴講者が研究の目的、考え方、手法および結論を理解できるように十分推敲する。なお、不十分な概要は減点となる。また、期限内に提出のできない学生は、原則として不合格になる。

2. 概要用紙設定

A4用紙・縦(210×297mm)とし、上下余白各20mm、左余白20mm、右余白20mmを必ず確保すること。

3. 書式

横書き、2段組、1段は22文字/行、50行程度を標準とする。本文の文字の大きさは10または10.5ポイントとし、フォント英数字はTimes New Roman/Helvetica/Symbol等を、日本語は明朝、ゴシック等を使用する。印刷した場合のページ数がA4用紙・2ページとなるよう原稿を作成する。これを超えた原稿は受け付けられない。

4. 表現方法

文字色は黒とする。図・表・写真等については色の制約はない。ただし、色を使う場合でも白黒印刷される場合を考慮し、マークの形や線の形式などに注意を払う。また、図表の文字が極端に小さくならないように注意する。

5. 書き出し

原稿の1ページ目には、上記の通り、題目・専攻名・学籍番号・氏名・指導教員氏名・本文の順に書く。

6. 提出期限・提出方法・提出先

6.1 概要提出方法 以下のように概要ファイルを提出する。

提出方法：以下のフォームにアクセスして概要のPDFファイルをアップロードする。アップロードが上手くいかない場合は、各専攻副主任に連絡す

ること。

MC 専攻：<https://forms.office.com/r/pri92QnHv8>

ES 専攻：<https://forms.office.com/r/iK5us850FX>

提出期限：1月5日(金) 17:00 まで

保存形式：PDF ファイル

ファイル名：学籍番号_氏名_概要

(例) AMC2001_大分太郎_審査概要

不十分な概要は、減点となるので十分推敲する。期限内に提出の出来ない学生は、原則として不合格になるため注意する。

知財保護対象発表の概要は電子ファイルで提出せずに、各自で30部印刷したものを学生課教育支援係へ提出する。提出期限は、上記の通りである。

なお、概要は知財保護対象セッション前の休憩時間に学生が配布する。なお、発表後、配布した概要は、配布者が責任を持って回収する。

6.2 完成版概要の提出 発表後、訂正等がある場合は、加筆・修正をして完成版概要を仕上げる。完成版概要は、紙面とpdfの二つの媒体で提出する。

紙面による完成版概要には、上記指導教員の氏名の横に指導教員の確認のサインまたは押印がされていること。なお、知財保護対象発表概要は指導教員に提出の可否、内容の一部削除等を確認の上で提出すること。提出先と提出期限は、次の通りである。

提出先・部数：学生課教育支援係・1部

提出期限：発表日から1週間以内(厳守)

7. 発表用パワーポイント (PPT)

7.1 パワーポイントの準備 発表時間、質疑応答時間を考え、パワーポイント(以下、pptと略す)を準備する。

7.2 提出方法とファイル名 以下のフォームにアクセスし、pptをアップロードする。ただし、知財保護対象発表のpptは、アップロードしてはならない。

MC 専攻：<https://forms.office.com/r/ayxgTX6QSG>

ES 専攻：<https://forms.office.com/r/EY5Dk21k7D>

提出期限：審査発表日の8:00 まで

保存形式：ppt ファイル(pdfも可)

ファイル名：学籍番号_氏名_発表資料

(例) AMC2001_大分太郎_発表資料
*10MB を超えないように留意すること

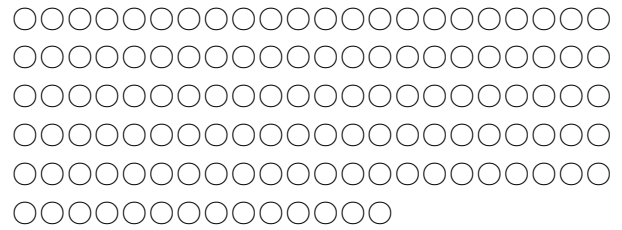
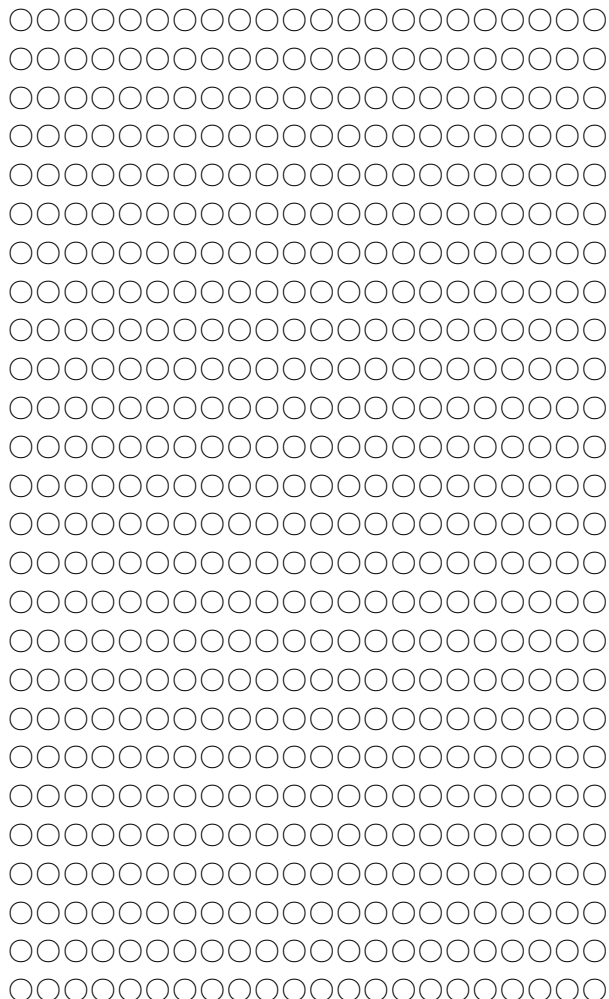
7.4 知財保護対象発表のpptの扱い 知財保護対象発表の ppt は，知財保護対象セッション前の休憩のときに USB メモリ等の媒体からパソコンにデータを移す．なお，ppt のデータは，パソコンに残さないように注意する．

* 補足：テンプレートの記述の細部は，指導教員の所属学会に準じて若干の変更は認める．自分のノート PC を持参して発表してもよいが，必ず専攻主任に事前に連絡のこと．

8. 結 言

テンプレートファイルのスタイルを利用すると，各々の項目の書式が自動的に利用できるのご利用ください．なお，絶対的な出来上がりレベルを保証するものではありませんので，印刷結果が望むレベルに達しない場合には，使用の環境に合わせて，各自において微調整を行うなど所定の体裁に最も近い設定を行ってください．

また，文献の記述等の細部は，指導教員の所属学会の形式に従って，若干の変更は認めます．



参 考 文 献

- (1) 木綿・他 5 名，可変リンク機構をもつ直線翼垂直軸風車の性能，日本機械学会第 83 期流体工学部門講演会 CD-ROM 版講演論文集，2005，No.1811.
- (2) 清水・他 2 名，機論，64—625 (1998)，pp.202-207.
- (3) 林・他 3 名：サボニウス風車の起動性改善に関する風洞実験，日本機械学会中国四国支部第 42 期総会・講演会講演論文集，045-1 (2004)，pp.301-302.
- (4) 大分・他 1 名，〇〇〇〇〇〇〇〇〇の研究，大分工業高等専門学校機械工学科卒業研究，2008 年度.
- (5) Takeuchi, Y., Ultraprecision Micromilling Technology (Review) , *Transactions of the Japan Society of Mechanical Engineers, Series C*, Vol. 71, No.701 (2005), pp. 1-4.
- (6) Nagashima, A., New Year's Greeting, *Journal of the Japan Society of Mechanical Engineers*, Vol. 108, No. 1034 (2005), pp. 1-2.
- (7) Keer, L.M. et al., Resonance Effects for a Crack near a Free Surface, *Transaction of the ASME, Journal of Applied Mechanics*, Vol. 51, No.1 (1986), pp. 65- 69.

9 ポイント程度
参考文献が多い場合は，学会指定の省略表記を用いてもよい.